

アンサンブル部特別賛美礼拝



7月15日の礼拝はアンサンブル部による特別賛美礼拝としてお捧げしました。

「全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ
歓声をあげ、喜び歌い、ほめ歌え。

琴に合わせてほめ歌え

琴の音に合わせて、楽の音にあわせて。

ラッパを吹き、角笛を響かせて。

王なる主の御前に喜びの叫びをあげよ」(詩篇98)



音楽科の宮坂純子先生の

オルガンの前奏に合わせてチャペルに入場し、頌栄539番を賛美した後、讃美歌 編157番「この世のなみかぜさわぎ」をアンサンブル部の伴奏に合わせて、全校で歌いました。普段のオルガンの伴奏とは違い、弦楽伴奏で賛美歌を歌うのは、中学1年生・高校1年生にとっては初めての経験であり、また上級生にとっても新鮮なものでした。

詩篇98篇の御言葉を朗読し、祈禱を捧げた後、音楽科の長嶋拓生先生が特別賛美として演奏する曲の説明をしてください、アンサンブル部の特別賛美「讃美歌 編157番」と「主よ、人の望みの喜びよ」をお捧げしました。

神様に賛美の捧げものをするために、練習を繰り返し、当日は朝早くからチャペルに集まって練習をしたアンサンブル部の賛美の捧げものに、全校で心を合わせ、喜びの礼拝を捧げました。

